今日世

J

ハ園藝植物トシ

テ廣

くク世間

(三擴マレルむさわらぎくヲかいざいくト誤稱シ子弟ヲ教育スル教師

著書

少白色ノ綿毛ヲ被フル〇莖ニハ縱ニ著シキ翼アリ即チ莖葉

ざいくハ學名ヲ

Ammobium alatum

R. Br.

ト稱

... ろ 〇

年生或

ノ邊縁

ヨリ流下シ或ハ越年生

來リ

タ

w

æ

ナ

´リ〇葉

全邊

ノ草本ニシ

テ直立シテ枝ヲ分

チ多

)誤稱ノかいざいくト眞正ノかいざいく

牧野富太郎

今日一 ニスラ之ヲ襲 兩 (種子ヲ歐洲ヨリ傳へシナラン 品 ν が則 般二世 ハきく科 パチ眞 入 角 中ノははてぐさ族ニ シテ其非ヲ悟 かいざいくい如何 一種スルかいざいくハかいざいくニ非ズシテむぎわらぎくナリ之ヲかいざ ロラザル 屬シ共ニ濠洲 !ナル品乎今次ニ此兩植物ヲ圖說シ以テ之ヲ明ニスベシ モノアリ依テ此ニ其妄ヲ辯 原産ニシテ明治ノ初年頃我邦ニ渡リ來リ ジ世ノ誤ヲ正サント ス いくト稱呼スペ Ż n Æ ノ ナ ッ多分 カラ

頂末 方ノモノハ内方ノ テ柔ク白綿毛下面ニ多クシテ平布 シテ内面 棄柄 リ乾質純 = 獨在 ŀ 「ハ微凹 ナル葉柄ヲ合セテ數寸ノ長アリ、 白 |ス〇花床(花托)ハ多少凸隆ス〇總苞 1色ニシ 外面 モノヨリ テ花瓣ノ狀ヲ装ヒ各片廣キ 山ハ背ニ ·短クシテ殆ンド無 稜ヲ呈シ末端 ヤリ、 根生葉 莖上 八微凸頭ヲナス濁褐色ニシテ上部ハ白色ナリ〇小 柄 -)- 卵形ヲ呈ス内方ノモノハニ三分許ノ長アリテ廣キ短柄ヲ具へ外 ハ披針形乃至卵形ヲナシテ銳 ハ牛球形ヲナシ、 ý 葉 花床上 細小 ニシテ互ニ相離 ナル 花間 總苞片 ノ鱗片ハ大ニシテ倒披針 ハ多列ニ 在 v 頭ヲ有シ下部 一銳尖頭 シテ開 ヲナス〇頭狀花 出 3/ ハ狹窄シテ長 花 徑凡六乃 形 數多 アナ 至 絶テ 幹枝 ÷ 剛質 翼狀 分許 管

₹/

兩

性

÷

ス〇花冠

ハ黄色ニシテ口

トハ

五齒

刕

ル○冠毛ハ變ジテ膜質ノ短キ杯形ヲナシ全邊或ハ

テ其學名ヲ

Helichrysum bracteatum

WILLD.

ク漸

7

むぎわらぎくハ又むぎがらばな、

むぎがらぎく、

Z)

3

(縮圖

精研 原ノ ノニュー、 テ之レニ alatum (有翼ノ義) ル希臘語ヲ基トシテ此ニAmmobium ナル ブラウン氏ノ 7 y シ其沙地ニ生ズルョ シテ末端稍肥 Ó 沙 3 地 テ二邊四 ッ 野生ス〇 1 始メテ發見スル所ニ ス、ウェー F 稜 心厚シ且 アリ〇 本 種 IV ナ リシ ス)豪洲 八西暦 ッ w ノ一地ニ 截形ヲ呈 小 テ乃チ ナル種名ヲ加 尾 原產 二千八 7 シ y ラ同氏 於テロ 沙並二生活 一ス〇痩 地 八百四年 花 新 在テ ハヘテ之 屬ヲ建 ハ之ヲ 果 1 濠州 Ś 1 平 平 ナ 1

學所藏標品(明治十二年製)ノ名箋ニ記スル所ニシテ就中むぎがらばなノ名最モ舊シ即チ始メテ明治 小石川植物園草木目錄(東京大學理學部印行)ニ出ヅ而シテ當時尚未ダむぎわらぎくノ名ノ此等標品 、明治十九年出版同大學植物標品目錄(理學博士松村任三君編纂)ノ中ニ始メテ之ヲ見 ト云フ〇多年生ノ直立草本ニシテ或ハ枝ヲ分チ或 むぎわらざいくト稱ス此下ノ三名ハ共ニ東京帝國大學 總苞片ガ貝細工 = 擬シ 得べキヲ以テ ルニ ナ 正 ŋ 至 年 v y 繹 出 理 而 科 ヌ 版 ~ 大

此品今日我邦ニ鮮シ予ハ近來絕テ之ヲ見タ

Ammobium alatum R.

Br. ト學稱

2

タ

IJ

ナシ而シテ之ヲかいざい

くト云フハ其純白

剛質

1 ŀ

IV

J

誤稱ノかいざいくト眞正ノかいざいし

二尺アリ往々種子ョリ生ジテ其年内ニ花ヲ出シ一年生ノ觀ヲ呈スル

コト

7

y

或ハ毛

+

或

糙

シ或

少シ

不ラ

ズ高

サ

ヺ =

散

1.

綿 3

丰

رر

7. くト眞正 カュ いざいく

11 D 5 Ť < (縮圖 總 ス w 丰

半 モ v 布

球形ニ 1 IJ ス

V 4 = モ

テ開 四

出

套

+ 至

往

五

全邊 1



テ微 子 3 Th. 敢 達ス 尖 マテンレ 寸餘 ア 綠 w 色ニ ノ徑アリ剛質滑 叙 -}-頭 3 v \bigcirc ヲ テ ナ 葉 ,時 ス ハ 線 = 耳 微 形 4 乃 3/ ニシ 粘 至 411 質ヲ帯 長 柄 テ黄色ヲ呈 橢 ナ 圓 V 狀 ブ 1. 披 シ w モ テ = 針 下 多 ス ŀ 形 部 少紅 N 7 = 1 ヲ y 3 Æ 褐 本 0 テ 色 伙 頭 下 葉 ヲ 狀 ŀ 帶 V 花 本 其 ブ モ 漸 他 大 w 次 モ 種 = = 倒卵 狹 4 シ 7 テ 窄 'n 色ア 狀 梗 3 或 テ 頂 長 y 柄 白 即 獨 圓 狀 色 チ 在 形 ヲ 藁 ス ヲ

合體 狀 長 モ 花 = 7 ヲ 分 ハ 極 7 ハ IV ス V 筒 雌 1 É V テ 多數 部 花 尾 色 小 7 = 針 ナ 有 y ラ算シ 齒 極 シ 0 テ r ス × O リ上 テ 花 15 花 狹 冠 總 V 部 瘦 苞 柱 7 2 黄 枝 花 ナ 1 ハ y 半 冠 肥 色 線 Ó 長 厚 3 形 IJ セ 冠 V 3 毛 ズ = 短 テ y 基部 舷 ୬ 3 モ ハ テ上 短 長 葯 7 口 2 端 外 微

3

五.

齒

部

١. 7

モ

方

21

漸

長

多

7

披

針

3 Æ

E

ハ

短

シ

テ 數

卵

7 テ

ナ 鈍

シ 即

無 或

柄

V

IJ

短 內

闊

柄 1 方

7 Æ

y

最

內

1 次

モ = 17 21 モ

1

ハ 7

狹 3

長 テ 形 V

=

シ

テ寧

U

短 形 ナ 銳

V

小

ス

w

7

ŋ

總苞片

多

=

頭 呈

7

ŋ

或

白褐

色

1

1

r

IJ

又或

ハ

石

竹

色ヲ

色 0 早

Æ

テ

絲

7

中 頭 多 7 數 1) 1 品 種 ラ合 × IJ Mi 2 テ 此屬名 1 舊

此

T

ござわらざく

屬

ス

jν

Helichrysum

屬

ハきく科中

1

大屬

=

V

テ

愿

扁 瘦

平

3

H.

ッ

驷

狀

三角

形

ラ星

え〇

瘦

果

か無

ハ音こくナ

ý

丽

≥

テ解 [來文字ニ

い音か

v

=

€/ w

テ Æ

ル字

ナリ文學者ハ由

某文學者自著

で文集

題シ

テ解

の葉ト カ

云フ然ドモ

是レ當

サー

眀

ナ

寄生ノ名ナ

號一第卷一第誌雜究研物植

ŋ

テ

オ

フ

ラ ス

ッ

ス

氏

"

使

崩

シ

タ

w

希

臘

名

=

シ

テ

其

語

1

下

宇

۱۷

黄

金

義

ナ

y

即

チ

其

兺

黄色

=

基

ーキテ

名か

シ

ŧ

Ī

シテ黄色ヲ呈スル

恰

E 麥稈

如

キ j

、以テ斯

ク呼

۳

タル

Æ

1

ナ

ŋ

(一)莖ヲ通ジテ著シキ綠色ノ翼アリ、頭狀花ハ徑六七分、今左ニむぎわらぎく及ビかいざいく兩種ノ檢索表ヲ揭グ むぎわらぎくノ名 ハ其總苞片ノ剛

)莖ニ翼ナシ、 ニ鱗片アリ、 頭狀花 冠毛 ハ變ジテ單ニ杯 ハ徑

冠毛ハ常形ニシテ毛ヲナ

ス

寸餘

總苞

٠, ナ

黄色ヲ本

ŀ

୬

種々ノ色アリ、

花床

=

鱗片ナシ、

か

むぎわらぎく

形

ŀ

總苞

ハ

總テ純

白色、

花

床

= ハ

花 v

間 3

力

即手明治五年出版ノ垤甘度爾列氏植物自然 從來自然分科中ノ Loranthaceaeヲ槲寄生科

いト譯

也

科

= 始

メテ此譯語

ヲ 下セ

シ

田

中芳男先

シ

テ

科表

= ŋ

於 m

テ シテ本

セリ

リテ解

学ヲ用

、中以ラ檞寄生科ト

ナシ今日出版 氏植物自然分

シ槲寄生ハ即チやどりきノ漢名ナリ

h

牧 野

富 太 郞

蓋シ是レ松心即チ肥エ松乎肥エ ノ街此誤アリ所謂千慮ノ一失ナ ノ書侚此誤ヲ改メザ 槲の葉 然ル n = 後 モノ ナラザルベカラズ槲 ノ此譯語 松 iv Æ Æ ノアリ 朽松ノ材心脂ニ富ムノ部 , 乎呵 ラ襲用 世ニ槲寄生ノ名アリ然 スル なら、 モノ往 Z) 々其槲字ヲ誤 しは等 ŀ =

ナ ŋ

槲 カ 槲

71